



LETTING THE DEAD SPEAK

開かれた「パンドラの箱」 AI利用で“死者”が法廷で発言 量刑判決にも影響与えたか

殺人事件の被害者がAIによって法廷によみがえり、判事に、加害者に、遺族に語りかける——架空の未来を描くSF作品の一場面ではない。今年5月、米アリゾナ州の法廷で実際に起きたことである。3年前、クリストファー・ベルキーさんは自動車の運転をめぐってトラブルになり、銃で撃たれ死亡した。その殺害犯の量刑審理に際して、クリストファーさんの姉とその夫が生成AIで本人の映像と音声を編集・再現、判事の許可を得て法廷で再生した。司法におけるAI利用の倫理的問題と将来的な影響に焦点を当てる。



番組ホスト

アンダーソン・クーバー

1992年、教育向けニュース・チャンネル、Channel Oneでキャリアをスタート。1995年、28歳のとき、最年少特派員としてABCと契約。その後、同局の「ワールド・ニュース・ナウ」などの看板番組のアンカーを務める。2001年12月、CNNに入局。1967年生まれ、ニューヨーク育ち。

ゲスト

ジョージ・グラッソ

1979年から2010年までニューヨーク市警察で勤務し、巡査から最高位の警察第一副委員長にまで昇進。警察の汚職や不正行為の訴追に尽力した。退職後、ブルームバーグNY市長によりニューヨーク市刑事裁判所判事に任命される。21～22年にはクイーンズ最高裁判所刑事部の行政判事を務め、銃器事件の迅速な処理を主導した。1957年、ニューヨーク州ホリス生まれ。



Listening Quiz

67) 死亡した被害者“本人”が法廷で意見陳述



Anderson Cooper Recently, [in] an Arizona courtroom, what’s believed to be the first time artificial intelligence has been used to give a victim’s statement—a dead victim. This is Christopher Pelkey. He was shot to death near Phoenix in a road-rage incident three years ago.

Earlier this month at the sentencing hearing* for his killer, his sister and brother-in-law got permission from the judge to play the AI-generated statement using Christopher’s likeness. Here’s a clip of that likeness speaking to the real victim’s killer.



AI version of Christopher Pelkey (in video) It is a shame we encountered each other that day in those circumstances. In another life, we probably could’ve been friends. I believe in forgiveness and in God who forgives. I always have, and I still do.

To my family and everyone that I’ve met along the way: It was a lot of fun. You know, I always had a lot of fun. Love each other, because you never know how long you have. Make the most of each day and live your life.

- courtroom:** 法廷
- victim:** 犠牲者、被害者
- statement:** 声明、陳述、申し立て
- road rage:** 運転中の激怒(による暴力)
- sentencing hearing:** 量刑審理
- brother-in-law:** 義理の兄・弟
- AI-generated:** AIが生成した
- likeness:** 似姿
- clip:** = video clip 映像クリップ
- It is a shame (that):** …というのは残念なことだ
- encounter:** ~に出会う
- circumstances:** 状況
- forgiveness:** (罪の) 赦(ゆる)し
- along the way:** 道中、ここに至るまでに
- make the most of:** (機会・時間など)を最大限に活用する

68) 開かれた「パンドラの箱」



Cooper Joining me now is retired New York City Criminal Court judge George Grasso.

What’d you think when you saw this?

- criminal court:** 刑事裁判所
- judge:** 判事、裁判官

※お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

アンダーソン・クーバー 先日、アリゾナ州の法廷で、人工知能を利用して被害者に、しかも亡くなった被害者に意見陳述を行わせるという、初めてと思われる試みが行われました。こちら（の画像）はクリストファー・ベルキーさんです。彼は3年前、フェニックス近郊で起きた道路上の暴力事件で（相手に）銃で撃たれ殺害されました。

今月、事件の殺人犯に対する量刑審理で、被害者の姉と義理の兄は判事から許可を得て、AIで生成したクリストファーさんが意見を述べる映像を再生しました。これはAIによって再現された彼が、実際の被害者を殺した殺人犯へ語り掛ける部分の映像です。

AI生成のクリストファー・ベルキー（ビデオクリップで） あの日、あのような状況で私たちが出会ったことは残念です。別の人生では、恐らく友達になれていたでしょう。私は赦しと、そして赦す神を信じています。これまでも、そして今も。

私の家族へ、そしてこれまで出会ったすべての人へ。とても楽しかった。いつも、心から楽しんでいたよ。お互いを大切にしてほしい、いつまで一緒にいられるか誰にもわからないのだから。毎日を目いっぱい、自分らしく生きてください。

クーバー ここでニューヨーク市刑事裁判所の元判事、ジョージ・グラッソ氏をお迎えます。

この映像を見てどう思われましたか。

■ 何があった？

2021年11月、アリゾナ州の路上で起きた事件。ガブリエル・ポール・ホルカシタス被告（当時50歳）が、クリストファー・ベルキーさん（当時37歳）を銃で撃ち、死亡させた。2人は自動車の運転をめぐってトラブルになったとみられ、赤信号で停止中にベルキーさんは自分のトラックを降りてホルカシタス被告の車に接近。それに対してホルカシタス被告が複数回発砲し、ベルキーさんに命中した。2025年3月の裁判でホルカシタス被告は過失致死で有罪となった。

今年5月に行われた犯人の量刑審理に向けて、クリストファーさんの姉のステイシー・ウェールズさんがクリストファーさんの姿と声をAIで再現することを夫に提案した。ステイシーさんとその夫はともに、AI業界で働いているという。

■ sentencing hearing

「量刑審理」とは、米国などの司法制度において、被告人が有罪と認められた後で、その刑罰の重さを決定するための法廷手続きのこと。